臺灣新民報 昭和七年九月八日 (木曜日) 第一五一六百四十五號 (一)
(第二版)…(原稿聖建)…(明治一九年五月九日第三種郵便物認可)

臺灣新民報

九月七日
夕刊定價一部五錢
發行兼印刷人 岡野鎗壹
發行所 臺北市榮町二丁目三十二番地
臺北市榮町二丁目三十二番地
電話(一)七八五番
臺中支局 臺中市錦町一丁目一〇七番地
臺南支局 臺南市末廣町一丁目一〇番地
高雄支局 高雄市入船町一丁目一〇番地
大阪支局 大阪市北區堂島北町二番地
東京支局 東京市芝區三田四國町一番地

民政系の警察官吏を要所に配置する計畫

内相が身分保障決定前を狙ひ 政友會對策を講ず

【東京七日發電通】政友會は山本内相が民政黨側の意を迎へて來る十日の多額議員選擧に備へると共に官吏の身分保障決定前に民政系の警察官吏を要所に配置せんとの計畫を樹て隱密の間に着々之が實現を期しつつあるを重視し之が防止の爲め森岡間、山口幹事長は六日午後河原田前内務次官、長前警視總監、森岡前警保局長その他前地方長官等を本部に招き各方面の情勢を聽取し種々對策を協議する所あつたが、何れ具體的事實を握けて輿論の公平なる批判に訴ふると共に當山身閣僚をして閣議に於て之を詰問せしむる方針である

満洲國承認手續を首相、園公に報告

齋藤首相け〳〵訪問して

【東京七日發電通】齋藤首相は七日午前六時三十九分新橋發國際列車に西園寺公を訪問し、第六十三議會の經過に關し報告した

船賃は勿論の事仕度金まで補助

ブラジルへの移民に

六日、各地方長官に通牒

拓務省では時局匪救對策の一方法として今囘特に移住者の渡航並に渡航に關する經費の補助を爲し、今月より左の條件者に對しては渡航船賃の全額の內一人當り十二歳以上は五十圓七歳以上十二歳未滿は二十五圓、三歳以上七歳未滿は十一圓五十錢の仕度金を補助する事に決し、六日各地方長官に訓令の發牒方通牒を發した

【東京七日發電通】拓務省では時局匪救對策の一方法として今囘特に移住者の渡航並に渡航に關する經費の補助を爲し、今月より左の條件者に對しては渡航船賃の全額の內一人當り十二歳以上は五十圓七歳以上十二歳未滿は二十五圓、三歳以上七歳未滿は十一圓五十錢の仕度金を補助する事に決し、六日各地方長官に訓令の發牒方通牒を發した

船賃は勿論ブラジル國人よりも少額に移住するものに對して從來渡航費の全部をも一部をも補助し來つたが、その渡航費は年々增加の一路を辿り、昨年度に於ては一千五百人の豫定人員の渡航費を計上したるも實際渡航者は豫定人員の約二倍の三千人に達し、尙ほ今年に於ても一千人の渡航を豫定し、之が渡航費として一萬五千八百圓を計上してゐるが、既に豫定人員の約半數に當る七百餘人の渡航者を見、尙ほ續々渡航しつゝあるが、現在の渡航費補助額では渡航者の數が增加すればする程國庫の負擔が增大の一途を辿るため當局は渡航費補助額の減額を考慮中であるが、之が實現すれば渡航者の數が減少するの虞れあるので

秋深き霧社をけふ總督が弔ふ

討伐當時、移住後の狀況を聽取 終つて埔里へ向ふ

【霧社特電七日發】十時廿分埔里發總督專用自動車にて同發に霧社に向ふ、小公學校兒童、蕃人團體等の出迎をうけ、直ちに同發を出發、一行は三十分休憩の後、人止關をすぎ小霧社の馬場にて下車、霧社の馬場にて一同に對して訓示を與へた、二時半霧社著、警察官舍

ハダシで歩く人々（宛ら舊時代の縮圖）臺北にて

總督が首をヒネつた
本島人達のハダシ
都會地を裸足で歩くのは
文化の低い證據だと
——文化的民族としては……

漸次改めるやうにしたい

中川總督の感想談

くないし、何とか改むべきものの一つと考へてゐる、衛生などハダシでよく歩くないと不思議に思ふ者人が多いや昔の間を矢張ハダシで歩行廻つてゐるのも感情に依りするが、蕃人は已むを得ぬとしても、文化的民族としては漸次改めるやうにありたいと思ふ、それから語は追ふが植民地に對する考へなども改めて貰ひたいと思つてゐる

蕃人は已むを得ぬ

文化的民族としては……

漸次改めるやうにしたい

中川總督の感想談

くないし、何とか改むべきものの一つと考へてゐる、衛生などハダシでよく歩くないと不思議に思ふ者人が多いや昔の間を矢張ハダシで歩行廻つてゐるのも感情に依りするが、蕃人は已むを得ぬとしても、文化的民族としては漸次改めるやうにありたいと思ふ、それから語は追ふが植民地に對する考へなども改めて貰ひたいと思つてゐる

總督の指揮中には良いのもあるが感分わるいのも多い、さまざまの迷信や陋習制度その他の人心陋習などそれであるが一體に「文化發展」の色において恥ねばならぬ點多數の男女がハダシで平氣で外出してゐることである、田舍ならまだしも、都會地に於ても此の第一線生活からも遠く隔離や遮蔽上からも最も文化的に發展が下位にあることを證明するものである、民度の低い、衛生の上からも最も遠ざかつてゐる、文明にハダシの好ましからぬ風習が今尚ある、事にについては今迄も心ある人士の間に中川總督の如き叫んでから此の點に對し何等かの改善方法はないかといふ感想を懷いてゐた一人である

學校教育で改めたい

安武文教局長の談

この問題につき安武文教局長は語る

ハダシで外を歩くといふ風は悪い習慣や迷信にはなく單いふ習だけの現象と思ふ、自分は所生有について中川總督に今回の巡視出發以前において次の如く話つた

ハダシで外を歩くといふ風は悪い習慣や迷信にはなく單いふ習だけの現象と思ふ、自分は所生有について中川總督に今回の巡視出發以前において次の如く話つた

右に關し杜聰明、杜兩博士次の如く語る

本島人が裸足で歩く樣になつて

右に關し杜聰明、杜兩博士次の如く語る

本島人が裸足で歩く樣になつて

衞生的にも好くない

醫學博士 杜聰明氏談

ろのは經濟地である事と生活程度が低い事によるものです、從が滿洲地方を旅行した時に支那の苦力が裸足で車を曳いてゐるのを見て勿論の

ろのは經濟地である事と生活程度が低い事によるものです、從が滿洲地方を旅行した時に支那の苦力が裸足で車を曳いてゐるのを見て勿論の

上の點から之をどうすれば宜しいかといふ事は其の方の門外漢であり研究を要するが、兎に角文化が進むにつれて外見を整へるといふ意味からハダシの外出はよくないと思ふ、このよくない風に就いては學校等において充分說明し兒童などの方から改めて行きたいと考へてゐる

上の點から之をどうすれば宜しいかといふ事は其の方の門外漢であり研究を要するが、兎に角文化が進むにつれて外見を整へるといふ意味からハダシの外出はよくないと思ふ、このよくない風に就いては學校等において充分說明し兒童などの方から改めて行きたいと考へてゐる

勞働戰線に立ち
妹へ謝恩の學資
父亡き後を甲斐々々しく
臺灣の女子陸上競技界の
花と謳はれた諏訪代美孃

この記事は昨年の秋の頃、臺灣の女子陸上競技界に一輪の花と謳はれた諏訪代美孃が、父の死後、一家の生計を支へながら、勞働戰線に立つて、妹の學資を送つてゐる美しい姉妹愛の物語を聞いて、本社の女記者が、代美孃を訪ねた時の記事である、代美孃は、その後、東京に出て、更に勉學を續けてゐるが、今回、代美孃の母校、臺北第一高女の校庭で、後輩の生徒たちに、その體驗談を話すことになつたので、再び、代美孃を訪ねた、

（寫眞は諏訪代美孃）

美しき姉妹愛

感激的な姉妹愛の美談がユーモアの素材となつて街の人々の噂に花の如く咲き、そぼまた何とも云へぬ美しい姉妹愛の美談であるか、讀くも美しい姉妹に贈められた一篇、昨秋コーヒーとココアの話を聞いて銀座を通る女、明治製菓に勤める女、明治製菓に勤めるこの二人の女、共に實に

殘月

（274）

志乃田廸司作

清水三重三畫

（二七）

刀

「行くよ、そりゃ」

につこり笑つて嘉藏が云つた。

「刀、木偶けだから、まあ、我慢して呉れたのだよ」

「へい、呉れたものぞ」

淺十が思ひ出した。

「お父さん、昔語さあは、生命よりも商賣の方を大切がつてるぞ」

「よし、武士にしたい心掛けぢや」

職人が感心して云つた。

「ところが、此の時、武士は娘ひさに騙されて、駈けて居ひながら、ぼんやりして、お總の言葉一つ耳に入らなかつたぞ」

「まあ」

お妙が驚いて云つた。

「此の子供の時から武士が嫌ひだと云つてばかり居て」

「あゝ、武士なんか金で買つて來

た。

「殺されにのやないから大丈夫です」

職人は、安堵しながら、お妙に安堵するやうに云つた。

「ほゝ、どうしても、お武士さんはお嫌ひぢゃ」

お妙がつぶやいて居る時に、嘉藏は、もう、つか〳〵と先刻、暗闇に置いた刀を取る爲めに店の間へと出て行つた。

「職人を組んで仕舞ふと云ふ法はぢや、なあ、庄右衛門さん、どうせ殺す刀は持つてやせんぜ」

「さうでせうとも」

と、庄右衛門に渡した。

「どれ？」

刀身は好きな庄右衛門、ふと、見て、

「おや？」

「おやすゑつた。

本年四月

軍部の諒解を得て

滿洲國唯一の教化機關

滿洲國プロ愈々活躍

—内地有力團體との協調成る—

按師、監督、俳優を網羅しプロ作家、映畫の製作に第一歩を踏み出すこととなつた、滿洲プロではトーキーのみを製作する方針で、製作された映畫は滿鐵自動車によつて滿洲各地巡廻を無料で巡映するといふ、

海の秘密と云はれる程深く十年間外國の探檢船が難破した時のことゝ逃げおくれた船と一緒に沈んだ船長夫人と子供の死體をさがしに海底に下りたのである、彼に沈没した船體に入り船長室を見つけて扉を叩かうとした、けれども扉はなかなか開かない、そこでそれを打ちこはして中に入つた時、彼はそこに夫人と三つ位の男の子の死體をみつけた、それだけでなく、彼はそこに異樣な生物を見てゐるはずの男の子を片手にしつかりと抱へたまゝ船のハンドルを片手でしつかりとつかんだまゝ死んでゐるではないか、それから彼はながいことキリストを描くマリヤの像をみるたびに船や夫人のけだかい母性愛の姿を思ひうかべるのであつたといふ。

—新秋夜話—

獵奇的海底の話

—出會つた人魚？—

海底は神秘に閉ざされてゐる、そこには海の幸がある、その底とそれの神秘的驚異とにわれ〳〵人間が引きつけられずには居られない、といつて海中では呼吸出來ない人間は、底大艇體の可能によつて海底の神秘をさぐらればなるまい、しかし、いくらものすきでも、あの底大な海底を單中服裝することが出來ないのであつて、これには海底を戰場としてゐる潛水夫にその神秘と怪異とを聞かねばならないここに顧るのはさういふ海底生活者が、ほんとうに體に出會つた怪異である

○

北海の海底で作業中の潛水夫が人魚と出會つた話である、かう云つたゞけでも諸君は百パーセントの興奮を感じられるであらう、さて彼が作業してゐた北海の海は昆布で有名な所であつて、少し岩がある場所には、大體の昆布がまるで森林のやうに繁殖してゐて、到底艇上では見られない壯觀な光景である

○

それは、驚分顏負が證據して、一寸にニタリ〳〵とうごくのだ、なんだからだらかな體り手の體潛夫のやうにこの大森林は靜かに、左右にゆれるのである、どこからか、北海特有の涼しい風のうなゞーデが海中一面にひろがつてゐるやうになるのではないかと友人が重體大艇に電話でお訊ねしたらどなたが電話に出られたかいと親切な答聲で私には不明ですが一寸お待ち下さい、訊ねて電話でお知らせ致しますとの話、私は勿論待つてゐましたがやがて本日午後二時よりありますとの返事、私は非常に感じました

◇勿と海底に電話した事のない私には少しの感興さへ覺えましたそして電話に出られたお方に感謝と敬意を表すると共にかく感じました屋根と言葉とで答にかかる事切れさせるなと言葉をゆかしく感じ方、言葉の表現の仕方、等、特に興味ある方の話を聞いて私は

(四) 昭和七年九月八日 (木曜日) 臺灣日日新報 第一萬一千六百四十五號 (第三種郵便物認可)

漢文臺灣日日新報

山本內相備多額議員選舉

籌配民政系警察官於要處
政友出身閣僚且詰問

七日東京電。政友會。重視山本內相。邀合民政黨之意。準備來十日多額議員選舉。並於官吏身分保障決定兩。將氏政系警察官吏。配置要處。密立計畫。著々實現。森脇問。山口縣事長。六日午後。因招河原田前內務次官。長岡警視總監。森岡前警保局長。其他前地方長官等。到本部。協議種々對策。且聚其體事實。請與論公平批判。並稱當出身閣僚。於閣議詰問云。

公士嶺松乙溝學園
養成人材開拓滿蒙

六日拳天電。滿洲國。從述職士。以土地開放於各國人。東京國士館山田貞一氏。得吉林省長熙洽。實業部長張燕卿兩氏贊同。於吉林省長湖畔松乙溝。借得敗地三萬坪。籌設松乙溝學園。該學園收容二十五歲以下現身青年三百名。各府縣推薦者。或在鄉軍人會推薦者。修業期間三年。依自給自足經濟。使悉林業。漁業農業牧畜。一面勉學。養成其將來在滿洲活動之人。其先發隊十名。既於公士嶺農場。為實習生實習。以當開園後。實地指導。著々準備。訂來春開氷期實現云。

美國前大統領致書報紙
盛稱郭大統領治績
主張來十一二月再選

五日紐育電。前大統領柯立芝郭氏。當一文於報紙。題為共和黨。大意謂來十一月。大統領選舉。宜再選現大統領郭柔治氏。蓋其過去四年任期中之治績。及其解救國家之不幸。可堪再選。尤余所主張。現下國家危機甚多。宜為指導者。捨氏以外。難求其人云々。

構造會更生

七日東京電。前日不得不解散之構造社。此回會員都四三郎氏外十數名為主名構造會。又齋藤。日奈子。清水三氏。合以容以參加云。

美日滙水起

六日紐育電。本日美日滙水二十三先二十七仙二分一。即起五十仙方云。

早季逢萊米
大增收
四百餘萬袋

本年一期米之實收。臺中州率先發表。而高雄州下之分亦發表。皆非常豐作。就中臺中州下蓬萊米。收穫八十萬二千九百石。乡於六月豫想七萬三千百石。大約一成。比昨年同期實收五十二萬八千三百石者。增二十七萬三千九百石。約增產五成。又高雄州下蓬萊米。收穫十二萬二百六十石。比同期之三萬九千四百四十九石者。增加八萬七百餘石。即三倍強。其他各州亦大增收。由此實績見之。則蓬萊米移出力。意外豐富。至少不下四百萬袋。本月五日現在移出額二百九十二萬斤餘袋。今後移出益力。

臺中市匪救事業
即架橋下水溝等
豫算額二萬七千圓

督府時局匪救豫算案。已過臨時議會。臺中市。得國庫補助。實施之土木事業如左。

一、師範學校前道路。來廣橋以一萬九千三百五十圓。換架鐵筋混凝土二、臺中公學校後道路下水溝工事。按一萬五千六百餘圓。

三、山平和橋畔至臺中醫院後及臺中寺巢同業組合前。自下水溝工事。按二千七百圓。以上合計三萬七千六百五十圓云

臺南商專修
女技藝科分離
設獨立校

臺南商業專修學校內設置之女子技藝科。初開設時。前月。殆起九分六厘。即近一成。本年正月。亦實勃起。此為其次。其主因在漲水驛落。他為對外貿易。又國財界起色。常川五十七色貨中。奔騰四十品。跌落九品。比之前月。奔騰增加八品。保合八品。跌落九品。保合跌落皆少。中如紡布肥料。特起二成餘。次金物一成餘。然如糧品。僅落二分九厘。一切錄之如左。

鹿茸（四十品）粟麥、大豆、小麥、大豆、精糖、製粉、製菜、清酒、牛肉、菜種、油、棉花、棉絲、白木綿生金地生絲、紡二重、縮緬、毛絲、羅紗、毛斯倫、人造絹絲、人絹絨物、銅、鋼、鐵、鉛、錫、硫黃、木炭、揮發油、鯡油、急解決。以便送付一切稅項。並令關東廳。承認大連稅關長。後任岸本氏。

臺中市
城隍繞境
盛準備燦行

臺中市城隍祭典。襄因楮樓虎疫。乃延期。於來十日十一日兩日。舉行繞境一節。經誌前報。期日將屆。故諸商團團體。目下方準備燦行陣頭。雖陣等。聞鼓樂團。逢第二市場。獅肉商團。逢南北管

臺灣日日新報

十月號豫告

九月十日發賣

二の「二」

日本勝つか

軍縮破綻か

國家重大の秋！國民必讀!!

國際聯盟との衝突！日本の武裝すべき時は、目睫に迫った!!

陸軍省推薦

海軍省推薦

參謀本部獎勵

我が軍部の智嚢を一堂に集めての大檢討會!!　而も誰にも分る平易な記事だ!

參加將星!

内容の一部

（有賀の戰術家）志岐中將
（國際情報の名評）四王天中將
（現陸軍の主實）高田中將
（戰場航空の權威）谷田中將
（防禦戰の大家）二千石中將
（昨的砲術家）渡邊中將
（名軍事教官）伊藤少將
（史的研究家）竹内少將
（國際戰術の權威）遠藤少將
（水艦の權威）霜田少將
（飛行一の操行者）井上大佐
（米國通の機關）關根大佐
（現役航空將校）武藤中佐
（有名な軍艦通）岡加中佐

十月の出　十月號特別附錄に共　**五十錢**

（京橋區銀座二ノ七）　**新潮社**　發行所

論公罪犯

刑事部屋で拾った話　城戸敬二
肉刑の圖式　坂ノ上言夫
刑事部屋　德田彦安
胎罪　大養毅
墮落合三郎
奇術講座　阿部德藏
決闘狀を投げつけられた話　大野九郎太
室生犀星
井十五
榴合三郎
村英治
田一
松崎漠
方
賀川哲夫
神人アレチーノ　大隅爲三

英語通信講座

研究社

毎月壹圓　●本配冊二●

非常時に英語は最も強力！

現代科學の進歩は宛ら大洋を撤して我國と歐米各國と互に境を接せしむるに至った。世界語たる英語の必要は益々痛感せられる。英語が恰も地方語の如く吾々の耳に響く時代が既に來りつゝある。何人も英語を知らずんば本牧娘への手紙

一月十日　週年記念　特輯號　五十錢

富女悲戀　**白奴隷**　**日本醜業婦考**　**農村女性哀史**　**獵奇の現實**　**饑饉で飢ゑた農村女性哀史**　**相ではない!!**　**今や農村も、都市も、下層女性の上に**　**は飢餓と貧苦と、その他あらゆる恐ろしさを運命が迫り、正に深刻に社會!!**　**視せねばならぬ時だ**

中山太郎　安藤盛　八木野進

（三千里）　（貧笑週歷）　（悲戀短篇集）　宮川曼魚　吉川元之

赤玉ポートワイン

びみじょうぶどう酒

夏と戰つた體！赤玉で鍛へた體！是以上なし

早稻田大學

五十周年記念秋季新學期開始

新に支那語を加へて内容愈〻充實

獨學で中學卒業の實力を得たい人は本講義に入學するに限る。僅か一年か二年で希望が達せられ、卒業後は早稻田大學特別入學、學費給與等の大特典がある。特に今回の入學者には記念品を贈呈する。今が入學の絶好機！

他に大特典いな

五十周年記念品贈呈
早稻田大學への特別入學
成績優等者への學費給與
早大圖書館の無料閲覽
地方講演會の自由聽講
雜誌地圖讀本無代配布
奬學金の提供

（毎月一回發行・學費月金四・雜誌前月送呈）
（前期中學二ヶ年・後期三四五年・各一ヶ年修了）

商業講義　一ヶ年十圓
女學講義　一ヶ年十圓

内容見本進呈

東京牛込　**早稻田大學出版部**
振替東京一二三番・電話牛込三四五番

仁丹

忘れ水

（ペールオイル製）

荒れた肌でも使へばなほるキメを細かにするシャポン

（包裝共十錢）　正價十錢

急告

對外爲替相場の關係からボール類を始め輸入綿糸製品ものは益々騰貴しますが現在の在庫品は從前通りの價格で販賣して居ります

◇ゴルフボール　ダンロップ　ダイカー　一ダース　一五〇〇〇

◇テニスボール　ダンロップ　ロイヤル　一ダース　八〇〇〇

臺灣日日新報社　**運動用品部**

ダンダンは風の妙薬

發賣元　信生堂藥房
代理店　東京小川町　大倉組内　大倉組支店

債券及株券賣買

債券　株券賣買及保護預り
下記ノ銀行ガ當賣シマシタ株ニ十月一日ヨリ各銀行ニテ賣買ノ取次ヲ致シマス（太字ハ同銀行ニテ賣買ノ銘柄）
株券ニ元利拂込金ノ額又ハ株數ヲ以テ

糖價暴騰時代に善處せよ
製糖會社の増配は不可

一、現時糖價が暴騰したことは本島一大慶事の一たる觀衆に好刺戟を與へると共に本島經濟界にも好影響を與らしつゝあるが、何分その値上りが急激且つ突飛であるだけに此の糖價暴騰は各種の問題を胚胎してゐる感がある。思ふに糖價今次の暴騰は他の國際商品と同じく當初の候潮を主因とし去る六月の關稅改正、外債市況の好調等にも刺戟されてゐるが、我が糖價の大勢から今や向上の一路を辿つてゐることは文句價の暴勢を俟たず必しもこゝに喜ぶべきものでもない。生産者か生産の三倍に暴騰し國民が二倍に奔騰せるに拘らず尚ほ安價に見れば安價の約二倍に上分價格に見れば安價の約二倍に上つて即ち今次の糖價の暴騰に苦しむ且つ消費額の減退に苦しむ消費者はさきに之が對策として原料糖の引下げを主とする生產費の低減を行ひ以て一時的暴騰現象を緩和的に發展せしめる爲めには生產費を爪哇糖並みに引下げ得なくともそれに近い程度に低減し過剩糖の處分を容易ならしめ進んで海外に輸出し得るやうに立直すが緊要である。蓋し糖業者か過去三、四年間に亙つて血の出るやうな努力を續けて來たことは事實であつたとはいはねばならぬ、然るに原料代を引下げ生產費の高騰と此時期に於ける消費者の購買力の減退とが相俟つて今日の糖價の世界的不況に對抗せんが爲めの肝心の自ら生きんが爲に已むを得ないといふよりも寧ろ當然の結果として糖業者が過去三、四年間に得た暴利の一部を犧牲に供して糖價の引下げに適應し得るやうに立直すが緊要である。蓋し糖業者か過去三、四年間に得た暴利の一部を犧牲に供して糖價の引下げに適應し得るやうに立直すが緊要である。

二、此の糖價の暴騰を目して或は糖下げによる人爲的釣上げであるとし或は又糖業者が原料を安く買收して出來た糖價は糖業者が獨占で販賣して巨利を貪つてゐるのを以て糖價暴騰の原因であるとか糖業者が惡德であるから此際罰すべきであるとか種々の惡名を蒙つて糖業者が世間から攻撃の的となつ

影・光・そして明眸のトリオ……衛生園で

特異な個性と鋭い觀察力と——

高雄高女時代の彼女を語る

坂上教頭

語る　子を　る

×　×　×

山崎はたしか昭和四年の十一月

×　×　×

つた生徒は徒々おだてると悪い結果を招く恐がありますので作文などに就ては私は物振を公平に見る様にと言ふ意味から例へ賞讃はしなかつたが、因みに當時作文を書いた標で、卒業の際資料に殘つてはどうかと勧めました所「お父さんが」と云ふ様にと勧められてゐる水がありますから家庭でゆつくり研究したいと考へてゐます」と云つて納得した生徒はさんでした

×　×

生徒の家庭訪問には可成り注意を拂つてゐますが山崎さんは特に親しくしてゐた友達もなかつたと云ふ様な事は無かつたのではあるまいかと思ひます、どうも關係が非常に大きくなりまして本校としましても非常にありがたいと思つてゐます、一昨年度の關係生徒の生徒と相談ね何物かがあつたこと、彼女が携つて一組自治的な氣持がさうさせたのではあるまいかと思ひます、どうも關係が非常に大きくなりまして本校としましても非常にありがたいと思つてゐます、一昨年度の關係生徒の生徒と相談ね何物かがあつたこと、彼女が携つて一組自治的な氣持がさうさせたのではあるまいかと思ひます、どうも關係

×　×　×

本島人關係生徒の參加を得て同様の方針について打合せを行ふ筈である

屏東街接客業者の健診

【屏東電話】屏東郡警察當局では七日より街内接客業者の健康診斷を行ふが更に十月中第二回檢査を行ふ筈である

花蓮港高女で　タロコ研究

發表會

【花蓮港電話】花蓮港高等女學校では十月中旬より同校に於てタロコに關する研究發表會を開催するがその内容は一、研究發表會(イ、練習の成因について内山教諭、ロ、郷土觀と郷土研究岡本教諭　二、音樂及び舞踊タロコ探勝の唄(タンパス)と共に)同花蓮港風景唱歌(樂譜添付)　三、陳列タロコ模型、タロコ峽風景寫眞等

この外生徒の音樂舞踊發表會が擬定に於て開催門の記憶である

牛車禁止で　庄民に凱歌

富永潮州郡守の英斷　事實解禁となる

【屏東電話】獵期も近づいたにかゝはらず未だ嘗つて解禁されたことのない屏東郡内各庄民は、今回富永郡守の英斷により、本年度より解禁されることゝなつた、右に付關係庄民の一有志者は語る

市區劃整理施行の暁には、庄民の一有志者は語る

市區劃整理施行の暁には、庄民の一有志者は語る

高雄に於ける　青訓講習會

【高雄電話】高雄州青少年團では來る十一月七日（時間未定）午前九時より岡技技場に於て講習會の開催を決定であると

女子青年團指導　研究會

【高雄電話】高雄州青少年團では來る九月五日午後一時より松山公學校講堂に於て、七郡各男女團員代表者約拾名宛及び各郡部に於て夫々研究會を開催する筈なるが、今回はこの研究會の結果を基礎として來る十月一日より二日間に亘り高雄州青少年團主催の下に高雄に於て開催する州下青年團指導者講習會に於ける研究題目は左の如し

一、團の組織及運營に關する件
二、團員の訓練に關する件
三、團員の修養に關する件
四、團員の體育に關する件
五、團員の職業指導に關する件
六、團員の風紀に關する件
七、團員の社會奉仕に關する件
八、團員の保健衛生に關する件
九、團員の禮儀作法に關する件
十、團員の娛樂に關する件
十一、團員の貯蓄に關する件
十二、團員の家庭生活に關する件
十三、團員の交際に關する件
十四、團員の服裝に關する件
十五、團員の言語に關する件

臺中市秋季　清潔法

【臺中電話】臺中州の秋季清潔法は來る二十日から二十六日迄に行ふ筈に決定した

平澤技師蕃地　視察日程

【花蓮港電話】總督府平澤技師は東部視察中であつたが七日午後四時頃歸廳したが八日午前中花蓮港出發、九日タロコ方面の蕃地視察に赴任する筈

總督送迎者　へ注意

【臺中電話】日月潭、霧社方面巡視中である中川總督は八日午後二時五十分臺中驛着通過北上するが、歡迎でなきにより一般官民は送迎せぬ樣注意があつた

獵期　近づき　昨年の半數

屏東の出願者

【屏東電話】獵期も近づいたにかゝはらず未だ嘗つて解禁されたことのない屏東郡内各庄民は、今回富永郡守の英斷により、本年度より解禁されることゝなつた、右に付關係庄民の一有志者は語る

市區劃整理施行の暁には、庄民の一有志者は語る

臺中市秋季　清潔法

【臺中電話】臺中州の秋季清潔法は來る二十日から二十六日迄に行ふ筈に決定した

平澤技師蕃地　視察日程

【花蓮港電話】總督府平澤技師は東部視察中であつたが七日臺東廻り八日午後來花初審二線の上九日タロコ方面の蕃地視察に臨まれるとなつた

總督送迎者　へ注意

【臺中電話】日月潭、霧社方面巡視中である中川總督は八日午後二時五十分臺中驛着通過北上するが、歡迎でなきにより一般官民は送迎せぬ樣注意があつた

獵期　近づき　昨年の半數

屏東の出願者

【屏東電話】獵期も近づいたにかゝはらず未だ嘗つて解禁されたことのない屏東郡内各庄民は、今回富永郡守の英斷により、本年度より解禁されることゝなつた、右に付關係庄民の一有志者は語る

市區劃整理施行の暁には、庄民の一有志者は語る

臺中市秋季　清潔法

【臺中電話】臺中州の秋季清潔法は來る二十日から二十六日迄に行ふ筈に決定した

平澤技師蕃地　視察日程

【花蓮港電話】總督府平澤技師は東部視察中であつたが七日臺東廻り八日午後來花初審二線の上九日タロコ方面の蕃地視察に臨まれるとなつた

總督送迎者　へ注意

【臺中電話】日月潭、霧社方面巡視中である中川總督は八日午後二時五十分臺中驛着通過北上するが、歡迎でなきにより一般官民は送迎せぬ樣注意があつた

獵期　近づき　昨年の半數

屏東の出願者

【屏東電話】獵期も近づいたにかゝはらず未だ嘗つて解禁されたことのない屏東郡内各庄民は、今回富永郡守の英斷により、本年度より解禁されることゝなつた、右に付關係庄民の一有志者は語る

市區劃整理施行の暁には、庄民の一有志者は語る

砂の中からニュース！　血まみれの片足

人跡稀な東港溪の中洲に……　他殺か？獵奇的な怪事件

【高雄電話】高雄州東港郡下を流れてゐる東港溪の中洲に切斷されたものらしい生々しい人間の片足が發見された、關係當局では之を何等かの關係あるものとして鑑定を行ふ一方廣の外部に漏るを恐れ州警察部の指揮命令によつて極秘裡に電光的調査を開始第一歩たる死體の發見に努めてゐる、所もあらうに人跡稀な溪中の砂の中に曝まつてゐた人間の片足！この謎の片足が持つ秘密と謎が如何に解決されるか正に百パーセントの興味津々たるを禁じ得ない

■□■□■□■

【高雄電話】高雄州東港郡下を流れてゐる東港溪の中洲に生々しい人間の右足が發見された、關係當局では之を何等かの關係あるものとして鑑定を行ふ一方廣の外部に漏るを恐れ州警察部の指揮命令によつて極秘裡に電光的調査を開始第一歩たる死體の發見に努めてゐる、所もあらうに人跡稀な溪中の砂の中に曝まつてゐた人間の片足！この謎の片足が持つ秘密と謎が如何に解決されるか正に百パーセントの興味津々たるを禁じ得ない

■□■□■□■

腿のツケ根から　ズバリ！と切斷

胴體は何處ぞ？と捜査中

切斷　され腿關節まですべて砂にかくされてゐたものと發見し、同署では死體鑑定に着手すると同時に一部之を東港溪に保管し三十日午前田原醫師が鑑定を行つた結果、他の足は死體から抜けたものでなく切斷されたものらしいけれどうせ他の肉を野犬に食ひあらされて明瞭に切斷されたと認めるべき證跡を留めてゐないので一先づ變態なる方法によつて

保管　中であるが、死體は昨日發見後一晝夜を經ること今日また發見されぬので果して他殺によるものであるか或は溺死者の死體から脱落して漂着したものであるか鑑定の結果は目下の所斷定しかねてゐるが、地方的關係上もあり、發見したものであるから出來得る限り調査に當つて慎重なる態度を以て解決に努力中である

暴行訓導は　訓戒に止む

文教局の寛大な意見で

訓戒　に留めおけとの指導によつて去る二十六日本島人關係各部長會の席上本島人に對し訓導の取扱を與へ將來を戒むる所あつて事件は終結かついた譯だが、或方面では當局が事件を輕視しる樣に解へるやに感ぜられる由たが事實は右の次第である

宮殿丸船中で　船員の双傷

——些細の事から——出双で重傷を負はす

【臺南電話】七日早朝臺南市安平港に入港した阪馬汽船宮殿丸が淡水港に向ふ船中に於て同日午前零時半頃船夫番川源藏（三四）と同じく傭夫陳阿（三六）が些細の事から口論喧嘩をはじめ、大田義は矢庭に出刀を持出して山口の

腹部　外數ケ所に斬りつけたので山口はその場に昏倒しかなりの重傷との急報により安平入港とともに臺南署の高非部法主任が同船に急行被害者を直ちに臺南醫院に擔ぎ込んだが一命は取留るらしい、加害者は本署に引致その取調べ中である

開ラ中止

【臺南電話】東海自動車會社では七月初めから三様ブールの溶接の際を避るため土曜日は午後より休業する事に決定したが、其の後も引續き休業してゐるが、愈々來る十日より開業する事に決定した

危險家屋改築に　署長乘出す

七日、臺南署に關係者招致

【臺南電話】既報の如く南瓦斯株式會社の瓦斯發生爐の改築に關し先般來數回に亘り調査の結果去る廿四日午後一時より同署に於て大通り一帶に亙り調査の結果倒壊家屋を危險家屋とするもの二百六十一戸、百八十五坪を發見するもの三十四戸、百八十五坪を認定し特に大宮町四五、本町三七はその危險を告めてゐるが斯くの如き組織的に危險及び通行に支障ある家屋を放任せしむるのみならず又市街地の美觀を損ずるの點もあるので署長及び關係者立會の上改築を命ずる事に決定した

臺南署　に關係者招致

訪ふ人もなき　億載金城跡へ

臺南市を中心に　圓周道路を計畫

【臺南電話】臺南市内の交通は從來南門外の一部を除いては殆んど市内に限られてゐたが、最近に於ける市街地の發展は著しく、殊に南門外の發展は目覺しいものがあり、從つて交通機關の必要を痛感するに至つた、されど同市の地形は東南に細長く、從つて交通機關の發達については種々の困難があり、之が解決に關しては從來屢々當局者間に於て研究されたが、今回市當局に於ては之が解決方針として、市内を中心に圓周道路を計畫し、之が實現に努力することゝなつた、其の計畫は大體左の如くである

一、臺南驛前より南門外を經て安平港に至る道路
二、臺南驛前より南門外を經て安平港に至る道路
三、臺南驛前より南門外を經て安平港に至る道路
四、臺南驛前より南門外を經て安平港に至る道路
五、臺南驛前より南門外を經て安平港に至る道路

基隆聯青の　キャンピング

【基隆電話】基隆聯合青年團では來る十日夕刻より翌十一日午前にかけて暖暖水源地に於てキャンピングなし種々の訓練を行ふと

西門町賣店は　十日上棟式

【臺南電話】南瓦斯株式會社の西門町賣店は四〇六王樣及び同人妻男王萬興二、女子は臺義郡番路庄三四一〇號番地に於て建築發方に於いて着工中であつたが、同賣店は既報の如く南瓦斯株式會社の西門町賣店として建築中であつたが、工事は順調の進捗を見十日午前八時より上棟式擧行の豫定であつたが、其の筋の許可が未だ下りないので、十日は地鎮祭のみを擧行し上棟式は來る十七日に擧行する事に變更された

余總章氏決定　南瓦斯合分會長に

【臺南電話】南瓦斯株式會社臺南合分會では先般來會長の後任として余總章氏を推薦中であつたが、今回愈々決定を見たので、同氏は來る十月一日より就任する事となつた

獻金表彰者　三十二名

臺南州下で

【臺南電話】臺南州下に於ける兵事關係獻金者表彰者は臺南州下の分は此の程臺南州より其筋へ到着したので臺内部より其筋へ到着したので臺内部より其筋へ到着したので臺内部

ラヂオ・ホール

今日の番組

—J・F・A・K—

九月八日（木）

午前の部

【六・〇〇】朝の體操、ラヂオ體操
今日のお天氣のお知らせ・名古屋地方測候所發表
【八・〇〇】名古屋貯金銀行報告（東京）
【九・二〇】經濟市場の動き（名古屋）
【一〇・一〇】家庭料理・獻立・煮大根と牛かん・マイスクリーム
【一二・〇〇】日用品小賣價格・名古屋市西區市場發表・名古屋市西市場發表

午後の部

【〇・〇〇】放送局報・ニュース
【〇・二〇】證券經濟時間・レコード調べ・名古屋貯金銀行報告・長坂友郎講演・三重縣雄四・文部省發・自由時間
【一・〇〇】氣象通報（名古屋のみ）・名古屋測候所發表
【一・五〇】西部發送（實驗）・東京・米國シカゴ八局野球放送より中繼
【二・〇〇】子供の時間（名古屋のみ）・親方の朗讀・孫成小學校兒童・一、竹子湖まで（一）元衛・二、海水浴に行ったこと（西田術雄）三、淡水の一日（林田不二夫）四、たのしい月夜（林氏家雪夫）五、私のくろん坊（西田ユキエ）六、遠足（平澤正範）七、野球（金山政生）八、思ひ出（清水美智子）九、夕立（岡田弘美）十、幼年時代（中野文子）
【三・三〇】子供の時間（名古屋のみ）・ハーモニカ演奏・一二重奏（ベニスの街）（ベーリー作曲）（關東正男・酒井綾也）二、獨奏・安南王行進曲（清水精三・三重奏）（ベーリー作曲）（清水精三・關東正男・酒井綾也）四、二重奏（ロング・ダング・アゴー）（ベーリー作曲）（關東正男・酒井綾也）五、獨奏・沙漠を過ぎ行く隊商）

—臺南のみ—

▲詞・ハーモニカ演奏（清水精三・關東正男・酒井綾也）
一、二重奏（ベニスの街）（關東正男・酒井綾也との二重奏で、なだらかな曲です、作曲者はベーリーで、此の人はジャズ音樂を適當に入れて一番古い人でもあり、又節奏もいい人です
二、獨奏・安南王行進曲（清水精三の獨奏です、曲は東洋風の感情で、調子よく聽ける愉快な行進曲です
三、二重奏・「流れる雲」（清水精三・關東正男・酒井綾也）の二重奏です、曲はヤーン作曲のもので、優艶な感じの深い曲です
四、二重奏・ロング、ロング、アゴー」
誰でも知ってゐるなつかしい曲です、ベーリーの作曲演奏は關東、酒井兩氏です
五、獨奏・「砂漠を過ぎ行く隊商」
アメリカの通俗作曲家として有名なザメクニックの作曲で此の曲もよく知られた曲、砂漠を旅するキャラバンの有樣を描寫したもので、遠くからだんだん近づいて來て遠くに去つて行く樣が出てゐます、演奏は清水精三氏である
六、二重奏・「越後獅子」
日本曲、長唄の「越後獅子」を松原千加士氏がハーモニカ曲に編曲したもので、獨奏は關東氏と酒井氏の二人である

（ザメクニック作曲・清水精三、六、二重奏・越後獅子・松原千加士編曲・關東正男・酒井綾也）

夜間の部

【七・〇〇】體操の尺八講座（第二講）・佐藤晴美
【七・四〇】講座（東京）「未定」
【八・〇〇】室内音樂（東京）・名古屋のみ・弦樂の四重奏・曲目未定・第一ヴアイオリン芝祐泰・ヴイオラ杉山長谷夫・チエロ多基永
【八・〇〇】落語（名古屋のみ）・唄落語・楠川豐丸
【八・三二】講談より（名古屋のみ）特別講演
【八・四五】浪花節・鼓堂仁右衛門
【九・三〇】時報・氣象通報（名古屋のみ）・放送局報・ニュース（名古屋のみ）・放送經濟報・ニュース（名古屋のみ）・公示事項發表・明日のプログラム發表

浪花節　—名古屋—【後八・四五】

殺國美談　藤堂仁右衛門

西郷寅一

慶長五年長月十三日、關ヶ原天下分目の戰ひの時、敵軍の將大谷刑部吉隆に味方の總軍に參加これまでなり覺悟をきめ、戰場に於て切腹の際、名譽の證書を與へられんことを願ひ出でたるに、家康これを許さず、余が切腹したる後は余の首級を敵にさらさざる樣にしてくれと遺言をなし、家に切腹して果てたるが、然るに此の吾輩は主人大谷刑部の首級を敵に渡らんとせし時、敵の若武者藤堂仁右衛門と云ふ者に討たれたりと誤傳し、其の後、仁右衛門の爲めに、敵軍の將大谷刑部の首級を渡したりと云ふ事が、世間に傳はつてゐるが、仁右衛門の爲めに討たれたと云ふ事は、全く誤傳であつて、仁右衛門は、大谷刑部の首級を敵に渡さず、之を自分の家に持ち歸つて、ひそかに葬つたのである、其の後、仁右衛門は、大谷刑部の家來、湯淺五助、原田甲斐、兩人の者に、

國債の先行は好望　起債條件も好轉

南進基業の確立

北部米と蓬萊米の値幅

朝鮮銀行　近く再び開かん

臺灣鐵工業協會　臺北に設置さる

全島同業者を一丸とする

內地より流入　移民印刷が

平野岸副參與

內地人勞働者の

甘藷の植付遲延

寒冷で溫くなつて

四、五千噸程度か

函館漁業と

時局匪救事業と

花蓮港街に開催と決定

全島産業組合大會

滿洲國中央銀行に就て

新國家と共に創設された

セメント界

匪救事業と

外船輸入

兩港移出米累計

繃帶輸入數問題

關稅印度に於ける

非常に注目さる

內臺航路

高雄商業

內臺航路

高雄商業

內臺航路

高雄商業

曙光

（98）

生方敏郎作

中野修二畫

和談（三）

登山が髭を剃りかぶって、頭を下げると、毛を一握りほど太く残れね、廊通りもグル〳〵巻いて曲に染めた元結が現はれた。

春田はすこぶる危つかしい手つきで、鉄を元結にかけた。チョキりとやると、黒はぐれて澄江の膝に落んとかかった。

「前髪の元結も切つてよ。」

それから、澄江は一握りの髪をつかみ出した。春田に聴いて見て

「何だ？それは。」

「これがいしよ。」

「へえ、で大抵が植物が入つてるんだね。」

「前髪の中にも、これだけ入毛がしてあるの。女の髪つて、中にばこんな仕掛けがあるんだから、重くつて厭になるわ。」

「男のらつとも知らない胡麻化しがしてあんだなあ。」

春田は鉄を投げてある新聞紙の上に投げ出し、感心して澄江の髪ばかり見てゐた。

「そんなに珍らしいこと？これでも私たんか、まだ自分の毛が多い方だけど。春田なんかになると、もつと薄山かもじがいるのよ。」

「前髪にも毛植人るんだね。」

「へえ、あれこそ大きな図体つてものが入るのよ。番外だの大一番なんてなれば、まるぶんテー〳〵のものだわ。」

澄江は笑き顔。髪をすき〳〵髪しに。

「つまり女の化け物だね。」

「さうよ。だからなはお化け野郎だね。」

で、年が十歳も十五も違つわ。白髪をヨテ作りにして、明りの暗いところにゐれば、何んだかおかめだつて、実人に見えるわよ。男はそれに騙されんだから、私達からすりやバカ〳〵しくなるわ。」

春田は勿論らしさに、澄江の傍にある髪の束を引つ張つた。

「この髪なものは何だね？まるで地獄の十歳みたいだ。」

「それ、髪髪だ。」

「こつちは？」

「毛筋棒。」

「つまり七ツ道具つてえのは、これだね。」

安達謙蔵（一）

安達ほど名の売れ過ぎた人物も珍しい。

人物を中心に観る

非常時日本と『英雄の貧困』

渡邊國弘

わが明治維新における木戸、大久保、西郷、岩倉、ついで伊藤、ムツソリニや近衛麿出でている現代のヒトラー等と面目躍如たる政治家のいないことは現に日本ばかりでなく、世界の通弊である。

わが国にいわゆる政治家のないのではない。が、すくなくとも社会的勢力の根本に手を投するほどの者ならば、必然的にその社会的勢力を革命者自身の生活に反映するであらうし、従つて政治家自身の生活に反映する筈がないのだ。

安達の性格的ないん性もこの意味に於て先天的に遺伝なものとは言はなかつた。彼は生涯を通じて、そしてその立場から、常に消極的に、しかも常の気迫に充ちそれなりの積極性を以て、その場その場を定めて来たに過ぎない。彼の生涯を貫ぬく一筋の通路を求めることは出来ない。

人類愛を

表現し、経綸上から見て土地の画策を誤り、宗教上極めて新なる境地を開拓し、社会政策の立場から政治の革新を企図し、総ての面に於ける人生の理想を実現せんと努力した形跡もない。

諸條件を

探つたならば、又上のるであらうか、この要求に適合するものが私の知る限り安達の外に見当らないのだ。

安達の性格的ないん性もこの意味に於て先天的に遺伝なものとは言はなかつた。彼は生涯を通じて、そしてその立場から、常に消極的に、しかも常の気迫に充ちそれなりの積極性を以て、その場その場を定めて来たに過ぎない。彼の生涯を貫ぬく一筋の通路を求めることは出来ない。

礼拝する

場所には総督の参列を要すべきは当然までもない、儀礼それは同一方法を以て、凡ゆる階級の葬儀を同一に取り扱ふ事の必要を感じては居ない。

野蛮國の

如きは死後をも一定の土地に於て葬儀に後しめ、彼は一族相集つてその肉を食ふを以て最善の儀式となす所もあり、又那の如く風葬の習慣もあり、印度人は四姓の別なく火葬がよく遺骸を焼くの外は火葬がよく遺骸を焼くの外は火葬がよく遺骸を焼くの外は

抗日會員臺灣に潛入

對岸在留の籍民と巧みに連絡

島内で活動中檢擧さる

基隆敎化聯合會委員座談會

最近上海、福州、厦門に於ける抗日會が臺灣に向つて魔手を伸ばさんとし巧みに在留臺灣籍民の不良分子と連絡をとり此の程「抗日會臺灣駐在員を派す」の辭令を所持せる者數名島内某所に潛入活動中を發見檢束され取調べの結果連類者ある見込にて搜査中であるこの抗日會員の秘密命令と云ふのは本島から對岸に輸出する貨物の種類數量等を本部に報告し商品の種別に應じ貨物券付地所在の支那商人と連絡をとり陸揚げの妨害や排斥を行ふ仕組みであると

【基隆電話】基隆市敎化聯合會委員會は廿日午後四時より市役所三號會議室に於て二十數名參集の下に開催された、先づ全國敎化聯合會より出席した一公二木敎化部長の時局と敎化聯合會に關する講演があつて散會したが引續き同會に於ける臺灣敎化聯合會の組織に關する協議があつて午後七時散會した、尙ほ敎化聯合會は來る廿四日より市役所三號會議室に於て二十數名參集の下に開催される筈

臺南の街路照明燈

臺電で請負ふ

著工は十月中旬

【臺南電話】市當路生產係やもめダン商店前の現在電柱代替街路燈は甚だ暗くしいデビューを見る樣になつたので臺南市で先般來協議されて來た街路明燈二百八十一基の增設につき七日市役所に於て市當局と臺電當局との間に協議を重ねた結果市當局では相當の額を擔つて十二月末迄に全部の增設を終る豫定で著工は十月中旬頃から着手する豫定である

【臺南電話】臺南敎育會では廿日午後一時より市役所樓上會議室に於て第二十數名參集の下に臨時總會を開いて敎化事業の發展に關し協議したが、席上後藤敎化聯合會委員長より敎化事業の發展に關する講演があつて午後六時散會した

○○事件の特別公判

十六日大審院で開廷

一審で鮮人○○○○の判決確定

【東京七日發電通】今春勃發せる○○事件の犯人鮮人○○○に係る事件はその後東京地方裁判所の受命裁判官が豫審終結し一度は公判に附されて大審院の受命裁判官が公判廷に於ける審理を終つたので愈々本月十六日午前九時大審院刑事大法廷に於て特別權限に屬する第一回公判が和仁大審院長外四名の判任判事の手に依り開廷されることになつた、而して此の特別裁判は一審で判決確定する重大なもので公開せぬ方針である

織田、高石兩主將を

秋父宮樣が御召し

十日赤坂の宮邸に

【東京七日發電通】スポーツに依る國民外交に依つて益々御心にかけさせらるる秩父宮殿下にはスポーツ萬能選手の養成に御熱心で過ぐる四月には陸上競技の選手として選手三名を派遣されたが八日本土着の選手の活躍を喜ばれ十日午後七時より赤坂の宮邸に於て織田、高石兩選手を御召になりロサンゼルスに於ける我選手の健闘振と勞苦とを御慰勞遊ばされることになつた、尙當日は晩餐を御一緒に召上がる筈である

大阪と神戸の

重要地點を撮影

列國のスパイ活躍の際とて

我軍部では重要視

不可解な銀國の行動

【東京七日發電通】スパイ活躍の際とて我軍部では重要視してゐるが七月中旬ニューヨーク本店の命に依り來朝し重要建築物五十九ケ所を選定し之を寫眞に撮影し別に大阪市内國に寫眞に番號を附して所在を明かならしめたるものを貼付けアルバムに作製すべく同記ゼネラル・ツーオード・プロダクションに請負はしめたものであるが、而して撮影した寫眞は日銀支店、中央公會堂、大阪市役所、大阪驛、中央電話局、中央市場、住友倉庫、三菱商事支店、住友銀行、大阪ビル、市電會館、南海ビル、大阪毎日、朝日新聞社、大阪市役所、營繕課等數箇所、大阪附近

【東京七日發電通】目下京都に滯在中の米國銀行團代表ラモント氏は六日桃山御陵及び伏見御陵に參拜したが十分間の參拜を終つて御陵を出でたのは午後一時十分であつた

本庄將軍は

八日朝入京

七日夜は箱根泊り

【東京七日發電通】軍司令官本庄將軍は六日桃山御陵及び伏見御陵に參拜し、八日午前九時四十分新橋着で歸京の途に就くことになつたので、七日の晩餐會にて國賓代表として、七日夜は箱根に泊り、八日午前九時四十分新橋着で歸京の途に就くことになつたので、七日の晩餐會にて國賓代表として、

秩父丸

【東京七日發電通】世界の馬術家西半球の覇を決める米國オリンピック馬術選手權試合佐、吉田少佐、奈良大尉らは總勢廿大名中何れも好成績を擧げ十分間の練習を終つて午後三時半頃から愈々本試合に入つたが、第一日目の競技は午前十一時三十分より障害飛越を行ひ、第二日目は午前九時より馬場馬術を行ふ豫定で、第一日目の競技は午前十一時三十分より障害飛越を行ひ、第二日目は午前九時より馬場馬術を行ふ豫定で、

わが代表第二陣

けふ晴れの凱旋

馬術選手と水泳選手

【東京七日發電通】世界の馬術家西半球の覇を決める米國オリンピック馬術選手權試合佐、吉田少佐、奈良大尉らは總勢廿大名中何れも好成績を擧げ十分間の練習を終つて午後三時半頃から愈々本試合に入つたが、第一日目の競技は午前十一時三十分より障害飛越を行ひ、第二日目は午前九時より馬場馬術を行ふ豫定で、

職業戰線潛行記（二九）

S記者

知り合の某記者を

斷はつて怒らる

女給をつけたらスシの立食

搭車から眺めた世相（七）

李海青も遂に戰死

我が討伐軍の彈に當つて

張家灣

匪賊襲來

邦人に負傷者

郵便電話法規

制定の爲めか

關係を

嘉義の校長月例打合會

渥美大尉に對し特旨敍位

夫婦で阿片密吸し

赤ん坊にも飲ます

關係者四人處罰さる

滿洲國法制局に

三宅福馬氏招聘

飛行機で近く赴任

臺電で請負ふ

營口の競馬場で

英人匪賊に襲はる

一人はやつと逃歸つたが

他の二名は拉致さる

颱風近づく

七日海上警報發表

調を賜ふ

堺國オリムピック委員長

ガソリンの代りに

變性酒精を使用

臺北州自動車組合の

役員會で決定

檢事四隊に分れ

家宅捜索

東京瓦斯會社事件で

岩崎社長も召喚

留置さる

高雄の庭球選

手權大會

實寫映畫

九日醫專講堂で

オリムピック

武上技師が土城

庄の乾繭場視察

享保振袖

内科花柳病

特別廣告

(八) 昭和七年九月八日 (木曜日) 臺灣日日新報 第一萬一千六百四十五號 (第三種郵便物認可)

漢文臺灣日日新報

將氏推薦孫科組閣
實現當在三二次全體會議後
搜索其家宅

六日南京電。蔣介石氏。推孫科氏爲行政院長任兆銘氏後任。使其組織後繼內閣。以電報交涉結果。已得孫之承認。孫科近將率國賓。由香港來上海。後經內閣組織。乃在第三次全體會議後也。

調查團報告書
一部不利日本 全般的更不利中國
法國一邊觀測

六日巴里電。聯盟中國調查團報告書。有種々臆測。據法國情報。內容一部分。不利日本。而全般的更不利於中國。最初依敦賴所起草之對日本頗示敵意。然屢經變更後。強硬反對。爲此南氏間一時意化。又聯盟報告書。當遲遲延。當在十月下旬或十二月初旬也。

滿洲國承認手續
完了時即便承認
齋藤首相車中談

七日東京電。齋藤首相。七日朝西園寺公於網場歸途在車中語左。

當悟誠相之重退。有種々風說。然誠相此際當國家有奉公熱忱。最近健康亦不必憂慮。縱無引退之事對於十一月聯盟總會。帝國政府。當照既定方針適進。滿洲承認手續。尚有多少未辨。俟完了時。即欲實行。右開九月十八日答認者。此固不問。手續終了後。即便承認也。

召喚岩崎社長訊問
一方檢事分作四隊
搜索其家宅

七日東京電。東京瓦斯會社事件中心人物之前常務鈴木壽彥氏。六日夜拘引訊。留置於警視廳。七日午前八時。現社長岩崎清七氏。以任意出頭形式。受警視廳召喚取調。同氏之取調。乃昭和四年秋。鈴木氏爲當務當時。商工省瓦斯事業委員會。將一應之情資抹殺後。爲各方面奔走。以鈴木氏名義。作假拂形式。支出社金五十萬圓。因岩崎社長旅行不在。同氏作事後承諾。欲明此關係也。尚一方芳賀。栗谷。鹿山。岡本三檢事。分乘四臺自動車。鈴木寅彥。再訓社長宅。直入第二期工事。

鮮人〇〇〇公判
十六日大審院開廷

七日東京電。今春〇〇事件之犯人鮮人〇〇〇所關事件。其後由東京地方裁判所受命豫審判事。豫審訊問中。不近豫審終結。事件關係記錄。當四附於大審院。大審院受命判事。公判準備中。經已終了。本月十六日午前九時。將於大審院刑事大法廷。特別權限第一回公判。山和仁大審院長外四名之刑事判事之手開廷。然此特別裁判。乃以一審而斷決確定之重大事。故不公開云。

軍艦常磐
向佐世保歸航

七日上海電。軍艦常磐。攻擊奧港。克奏殊功。七日午前十時。受多數官民送行。午泊各艦概舉禮砲。向佐世保凱旋。

本庄將軍
八日朝入京

七日東京電。本庄新軍。凱旋入京。六日過桃山御陵及伊勢神宮。作凱旋報告。七日特急。抵國府津即。七日夜泊箱根。八日午前九時四十分乃入京。

有吉公使
會見雜總長等

七日南京電。有吉公使。七日午前七時抵南京。午前十時。訪問外交總長羅文幹。錢新任之總。午後歷訪各要人。公宴。招呈地中國一邊有洛陽說。折衝結果。決定於歸京行之。

要塞地帶函館山
寫眞藏於法軍艦
軍部與警察搜查中

七日函館電。去三十日。山函館出港。目下在橫濱碇泊中之法國極東艦隊旗艦出雲號。帶函館市民寫眞。被同艦見學之函館市民發見。有要塞地港後。密告於憲兵隊。軍部與警察部外事課協力。目下搜查中。

臺北板橋間
昭和橋
工程延緩

昭和五年。築北州協議

審人跋足爲不得已
文化民族宜漸改之
中川總督感想談

新舊要員。問如中川總督早有多年目及此。聽欲有所改革之。雖云。滋任後遭視之際。眼見跋足者外良多。以爲此

藉學校教育改良
安武文教局長談

我此問題。安武文教局長。談。在衛生上如何。余係門外漢不知。要行研究。然以陋文化進步。而整頓外觀而言。跋足外出。亦一足者。爲人生活程度之低下。使然者。余于滿洲地方旅行時。觀華人車夫。恰如本島人紳士。身服長衫足加毛皮靴。殊覺其奇異。文幹。錢新任之總。午後歷訪各要人。公宴。招呈地中國一邊有洛陽說。折衝結果。決定於歸京行之。

衛生不佳
跋足步行
杜博士談

本島人之跋足步行。爲生于熱帶地。及生活程度低下使然者。余于滿洲地方旅行時。觀華人車夫。恰如本島人紳士。身服長衫足加毛皮靴。殊覺其奇異。然此爲防寒而然。蓋緣因年中多溫熱。四跋足步行于人體無甚阻礙。故多跋足者。爲人生活程度之低下。固有宜評。一到鄉村小兒穿服物爲不經濟。即如大人。于會議席上。覺要履物時。以由袋履物至會場。洗足而穿。此等慣出于經濟觀念。跋足步行不獨文化的不雅觀。即以衛生的而言。多有因懶足襪而徒入內部。致蒙毒害有之。五等本島人當著。固有當改良此跋足惡習。然此須藉學校教育。青年團教育其他。將跋足之弊害及文化人。體裁。要爲急務。至地跋足者。年中多溫熱。四跋足步行。于人體無甚阻礙。故多跋足者。爲人生活程度之低下。使然者。余于滿洲地方旅行時。觀華人車夫。恰如本島人紳士。身服長衫足加毛皮靴。殊覺其奇異。文幹。錢新任之總。午後歷訪各要人。公宴。招呈地中國一邊有洛陽說。折衝結果。決定於歸京行之。

軍艦常磐
向佐世保歸航

七日上海電。軍艦常磐。攻擊奧港。克奏殊功。七日午前十時。受多數官民送行。午泊各艦概舉禮砲。向佐世保凱旋。

本庄將軍
八日朝入京

七日東京電。本庄新軍。凱旋入京。六日過桃山御陵及伊勢神宮。作凱旋報告。七日特急。抵國府津即。七日夜泊箱根。八日午前九時四十分乃入京。

有吉公使
會見雜總長等

七日南京電。有吉公使。七日午前七時抵南京。午前十時。訪問外交總長羅文幹。錢新任之總。午後歷訪各要人。公宴。招呈地中國一邊有洛陽說。折衝結果。決定於歸京行之。

臺北板橋間
昭和橋
工程延緩

昭和五年。築北州協議

審人跋足爲不得已
文化民族宜漸改之
中川總督感想談

新舊要員。問如中川總督早有多年目及此。聽欲有所改革之。雖云。滋任後遭視之際。眼見跋足者外良多。以爲此

藉學校教育改良
安武文教局長談

我此問題。安武文教局長。談。在衛生上如何。余係門外漢不知。要行研究。然以陋文化進步。而整頓外觀而言。跋足外出。亦一足者。爲人生活程度之低下。使然者。余于滿洲地方旅行時。觀華人車夫。恰如本島人紳士。身服長衫足加毛皮靴。殊覺其奇異。文幹。錢新任之總。午後歷訪各要人。公宴。招呈地中國一邊有洛陽說。折衝結果。決定於歸京行之。

浮浪者宣告

嘉義市西門町二丁目人蓋相當面積四尺。無論何人。不得侵入。違者就告就業。免無效。每被當局召喚到署。以後資保證金。當局認爲不適當時。即令退去。

檢查軍馬

軍司令部於來二十三日。隨正吉瀨八三氏。發檢查官。赴市都第馬。六日夜軍來嘉。同日午前中。檢查嘉義市內。午後都下等處。

檢閱出納

十六都區務課當局。發出納主任。會計事務之正確。每年施行定。

時評

本市自力更生運動。蜀逸亦自力更生運動。雨國民性雖有異。而同爲新興之國。彷彿相似。今日運動更生。誰能捷足。

○

俄國承認滿洲國設領事館交涉。是承認滿洲國之前提。日俄果先後承認。歐美列強。踵之也必。縱仍觀望。相何傷。

○

張仲榮書。當張易陳在日東京國士館。別籌學園於其手。漢卿雖毒。豈無仲榮書之雅。

○

去八月間。內地物價。殆發移入制限問題。一時內四十品。跌落九品。本島人士。乘機視察。理解益深。制限云々。當不再出諸口。

○

自滿豪問題發生來。內地輸設備々擴張。積極進出。依之以挽小山。與張漢卿。東京國士館。別籌學園於其佳。以造就指導問養之計畫。米麵雜貨。多收可補。土木事業。如屬生產事業者。宜早急好。

○

本島酒稅。一與買八圓五十錢。實八圓九十錢。檢出口門。值得十一圓三十錢。二者相差二圓五十錢。欲民不犯禁難。犯則科罰尖利。如何而可。

○

明年大日本米穀大會。本島酒稅。最近米穀移入制限問題。一時內四十品。跌落九品。本島人士。乘機視察。理解益深。制限云々。當不再出諸口。

○

去八月間。內地物價。殆發移入制限問題。一時內四十品。跌落九品。本島人士。乘機視察。理解益深。制限云々。當不再出諸口。

○

張仲榮書。當張易陳在日東京國士館。別籌學園於其手。漢卿雖毒。豈無仲榮書之雅。

○

內相鄉誕民政系諸官。以偏多額議員當選。政友或欲美列強。踵之也必。縱仍觀望。相何傷。

○

俄國承認滿洲國設領事館交涉。是承認滿洲國之前提。日俄果先後承認。歐美列強。踵之也必。縱仍觀望。相何傷。

○

內地人方面申入。三來二十日。可得決定。俟決定事云。

小樽郵局巨款貯金
在嘉義局被人盜領
旅館主下女等均被召訊

北海道旭川市宮下町人。元海郵船桂丸水夫友廣久吉。年三十二。於上月七日渡臺。八日到嘉義。投宿市內西門町蓬萊館。準備經營果樹園。同人在小樽郵便局。有貯金。月利凡一千六百十圓。六十二錢十二錢一厘。該通帳。提至嘉義郵便局。託其請求之金額。八月三十一日。右一本局人。持汝委任狀及證書領出。友廣大驚。急回西門町派出所。報告其事情。嘉義署諸刑事接報。出張活動。現場檢證。知係被人盜取證書及印章。偽造委任狀。向郵便局領出證書。而冒主莊傳。形跡可疑。即召往取調後留置。而同家人及館中下女數名。亦均被召訊云。

十四五日正式承認
板垣少將携關係文書
乘飛行機歸奉

七日東京電。滿洲國承認問題。板垣少將。頃來與各方面折衝中。磋商既終。帝國政府之承認並其善後處置所關文書。經已受領。八日乘飛行機。急遽歸任。按十日頃參拜。乃皇武勝全祖。而作諸般準備。武藤全權。至級。欲於新京與執政溥儀氏會見。作最後的折衝。一方某式承認案。題附橋府。似無異議。若無異議。則政府回訓。即印。承認大約爲十四、五日也。

審議滿洲問題
聯盟理事會總會日程

七日東京電。滿洲國承認問題。板垣少將。頃來與各方面折衝中。磋商既終。帝國政府之承認並其善後處置所關文書。經已受領。八日乘飛行機。急遽歸任。按十日頃參拜。乃皇武勝全祖。而作諸般準備。武藤全權。至級。欲於新京與執政溥儀氏會見。作最後的折衝。一方某式承認案。題附橋府。似無異議。若無異議。則政府回訓。即印。承認大約爲十四、五日也。

鹿港區委員會

當街區委員會。去五日午前九時。開於街會議室。會議事項。有無。移區整理。地租納期。秋季清掃。

高雄職業
紹介所成績

昭和六年度高雄市公設職業紹介所取扱成。績如左。紹介數四百三十四名之中男三百四十二名。女九十二名。就職數。計百八十三名。男百十七名。女六十六名。職業別。爲商業接客業。官公吏等云。

嘉義青訓
實地指導講習

嘉義市青年訓練所。定來兩日。在所內。開實地指導講習會。講師。爲市內各官衙公吏。及各學校職員。講題。爲一、青年訓練所之教育方針(江藤社會課長)二、就業後之注意點(法規上之注意)三、社會教育(社會課長)四、青年團之組織及活動(青年團長)五、分團教育之實施(分團主任)六、青年團之經營(青年團長)七、青年團之指導(青年團長)八、青年團之訓練(青年團長)九、青年團之指導(青年團長)十、青年團之訓練(青年團長)十一、青年團之指導(青年團長)十二、青年團之訓練(青年團長)十三、青年團之指導(青年團長)十四、青年團之訓練(青年團長)十五、青年團之指導(青年團長)十六、青年團之訓練(青年團長)十七、青年團之指導(青年團長)十八、青年團之訓練(青年團長)十九、青年團之指導(青年團長)二十、青年團之訓練(青年團長)二十一、青年團之指導(青年團長)二十二、青年團之訓練(青年團長)二十三、青年團之指導(青年團長)二十四、青年團之訓練(青年團長)二十五、青年團之指導(青年團長)二十六、青年團之訓練(青年團長)二十七、青年團之指導(青年團長)二十八、青年團之訓練(青年團長)二十九、青年團之指導(青年團長)三十、青年團之訓練(青年團長)三十一、青年團之指導(青年團長)三十二、青年團之訓練(青年團長)三十三、青年團之指導(青年團長)三十四、青年團之訓練(青年團長)三十五、青年團之指導(青年團長)三十六、青年團之訓練(青年團長)三十七、青年團之指導(青年團長)三十八、青年團之訓練(青年團長)三十九、青年團之指導(青年團長)四十、青年團之訓練(青年團長)四十一、青年團之指導(青年團長)四十二、青年團之訓練(青年團長)四十三、青年團之指導(青年團長)四十四、青年團之訓練(青年團長)四十五、青年團之指導(青年團長)四十六、青年團之訓練(青年團長)四十七、青年團之指導(青年團長)四十八、青年團之訓練(青年團長)四十九、青年團之指導(青年團長)五十、青年團之訓練(青年團長)五十一、青年團之指導(青年團長)五十二、青年團之訓練(青年團長)五十三、青年團之指導(青年團長)五十四、青年團之訓練(青年團長)五十五、青年團之指導(青年團長)五十六、青年團之訓練(青年團長)五十七、青年團之指導(青年團長)五十八、青年團之訓練(青年團長)五十九、青年團之指導(青年團長)六十、青年團之訓練(青年團長)六十一、青年團之指導(青年團長)六十二、青年團之訓練(青年團長)六十三、青年團之指導(青年團長)六十四、青年團之訓練(青年團長)六十五、青年團之指導(青年團長)六十六、青年團之訓練(青年團長)六十七、青年團之指導(青年團長)六十八、青年團之訓練(青年團長)六十九、青年團之指導(青年團長)七十、青年團之訓練(青年團長)七十一、青年團之指導(青年團長)七十二、青年團之訓練(青年團長)七十三、青年團之指導(青年團長)七十四、青年團之訓練(青年團長)七十五、青年團之指導(青年團長)七十六、青年團之訓練(青年團長)七十七、青年團之指導(青年團長)七十八、青年團之訓練(青年團長)七十九、青年團之指導(青年團長)八十、青年團之訓練(青年團長)八十一、青年團之指導(青年團長)八十二、青年團之訓練(青年團長)八十三、青年團之指導(青年團長)八十四、青年團之訓練(青年團長)八十五、青年團之指導(青年團長)八十六、青年團之訓練(青年團長)八十七、青年團之指導(青年團長)八十八、青年團之訓練(青年團長)八十九、青年團之指導(青年團長)九十、青年團之訓練(青年團長)九十一、青年團之指導(青年團長)九十二、青年團之訓練(青年團長)九十三、青年團之指導(青年團長)九十四、青年團之訓練(青年團長)九十五、青年團之指導(青年團長)九十六、青年團之訓練(青年團長)九十七、青年團之指導(青年團長)九十八、青年團之訓練(青年團長)九十九、青年團之指導(青年團長)一百、青年團之訓練(青年團長)一百一、青年團之指導(青年團長)一百二、青年團之訓練(青年團長)一百三、青年團之指導(青年團長)一百四、青年團之訓練(青年團長)一百五、青年團之指導(青年團長)一百六、青年團之訓練(青年團長)一百七、青年團之指導(青年團長)一百八、青年團之訓練(青年團長)一百九、青年團之指導(青年團長)一百十、青年團之訓練(青年團長)一百十一、青年團之指導(青年團長)一百十二、青年團之訓練(青年團長)一百十三、青年團之指導(青年團長)一百十四、青年團之訓練(青年團長)一百十五、青年團之指導(青年團長)一百十六、青年團之訓練(青年團長)一百十七、青年團之指導(青年團長)一百十八、青年團之訓練(青年團長)一百十九、青年團之指導(青年團長)一百二十、青年團之訓練(青年團長)一百二十一、青年團之指導(青年團長)一百二十二、青年團之訓練(青年團長)一百二十三、青年團之指導(青年團長)一百二十四、青年團之訓練(青年團長)一百二十五、青年團之指導(青年團長)一百二十六、青年團之訓練(青年團長)一百二十七、青年團之指導(青年團長)一百二十八、青年團之訓練(青年團長)一百二十九、青年團之指導(青年團長)一百三十、青年團之訓練(青年團長)一百三十一、青年團之指導(青年團長)一百三十二、青年團之訓練(青年團長)一百三十三、青年團之指導(青年團長)一百三十四、青年團之訓練(青年團長)一百三十五、青年團之指導(青年團長)一百三十六、青年團之訓練(青年團長)一百三十七、青年團之指導(青年團長)一百三十八、青年團之訓練(青年團長)一百三十九、青年團之指導(青年團長)一百四十、青年團之訓練(青年團長)一百四十一、青年團之指導(青年團長)一百四十二、青年團之訓練(青年團長)一百四十三、青年團之指導(青年團長)一百四十四、青年團之訓練(青年團長)一百四十五、青年團之指導(青年團長)一百四十六、青年團之訓練(青年團長)一百四十七、青年團之指導(青年團長)一百四十八、青年團之訓練(青年團長)一百四十九、青年團之指導(青年團長)一百五十、青年團之訓練(青年團長)一百五十一、青年團之指導(青年團長)一百五十二、青年團之訓練(青年團長)一百五十三、青年團之指導(青年團長)一百五十四、青年團之訓練(青年團長)一百五十五、青年團之指導(青年團長)一百五十六、青年團之訓練(青年團長)一百五十七、青年團之指導(青年團長)一百五十八、青年團之訓練(青年團長)一百五十九、青年團之指導(青年團長)一百六十、青年團之訓練(青年團長)一百六十一、青年團之指導(青年團長)一百六十二、青年團之訓練(青年團長)一百六十三、青年團之指導(青年團長)一百六十四、青年團之訓練(青年團長)一百六十五、青年團之指導(青年團長)一百六十六、青年團之訓練(青年團長)一百六十七、青年團之指導(青年團長)一百六十八、青年團之訓練(青年團長)一百六十九、青年團之指導(青年團長)一百七十、青年團之訓練(青年團長)一百七十一、青年團之指導(青年團長)一百七十二、青年團之訓練(青年團長)一百七十三、青年團之指導(青年團長)一百七十四、青年團之訓練(青年團長)一百七十五、青年團之指導(青年團長)一百七十六、青年團之訓練(青年團長)一百七十七、青年團之指導(青年團長)一百七十八、青年團之訓練(青年團長)一百七十九、青年團之指導(青年團長)一百八十、青年團之訓練(青年團長)一百八十一、青年團之指導(青年團長)一百八十二、青年團之訓練(青年團長)一百八十三、青年團之指導(青年團長)一百八十四、青年團之訓練(青年團長)一百八十五、青年團之指導(青年團長)一百八十六、青年團之訓練(青年團長)一百八十七、青年團之指導(青年團長)一百八十八、青年團之訓練(青年團長)一百八十九、青年團之指導(青年團長)一百九十、青年團之訓練(青年團長)一百九十一、青年團之指導(青年團長)一百九十二、青年團之訓練(青年團長)一百九十三、青年團之指導(青年團長)一百九十四、青年團之訓練(青年團長)一百九十五、青年團之指導(青年團長)一百九十六、青年團之訓練(青年團長)一百九十七、青年團之指導(青年團長)一百九十八、青年團之訓練(青年團長)一百九十九、青年團之指導(青年團長)二百、青年團之訓練(青年團長)二百一、青年團之指導(青年團長)二百二、青年團之訓練(青年團長)二百三、青年團之指導(青年團長)二百四、青年團之訓練(青年團長)二百五、青年團之指導(青年團長)二百六、青年團之訓練(青年團長)二百七、青年團之指導(青年團長)二百八、青年團之訓練(青年團長)二百九、青年團之指導(青年團長)二百十、青年團之訓練(青年團長)二百十一、青年團之指導(青年團長)二百十二、青年團之訓練(青年團長)二百十三、青年團之指導(青年團長)二百十四、青年團之訓練(青年團長)二百十五、青年團之指導(青年團長)二百十六、青年團之訓練(青年團長)二百十七、青年團之指導(青年團長)二百十八、青年團之訓練(青年團長)二百十九、青年團之指導(青年團長)二百二十、青年團之訓練(青年團長)二百二十一、青年團之指導(青年團長)二百二十二、青年團之訓練(青年團長)二百二十三、青年團之指導(青年團長)二百二十四、青年團之訓練(青年團長)二百二十五、青年團之指導(青年團長)二百二十六、青年團之訓練(青年團長)二百二十七、青年團之指導(青年團長)二百二十八、青年團之訓練(青年團長)二百二十九、青年團之指導(青年團長)二百三十、青年團之訓練(青年團長)二百三十一、青年團之指導(青年團長)二百三十二、青年團之訓練(青年團長)二百三十三、青年團之指導(青年團長)二百三十四、青年團之訓練(青年團長)二百三十五、青年團之指導(青年團長)二百三十六、青年團之訓練(青年團長)二百三十七、青年團之指導(青年團長)二百三十八、青年團之訓練(青年團長)二百三十九、青年團之指導(青年團長)二百四十、青年團之訓練(青年團長)二百四十一、青年團之指導(青年團長)二百四十二、青年團之訓練(青年團長)二百四十三、青年團之指導(青年團長)二百四十四、青年團之訓練(青年團長)二百四十五、青年團之指導(青年團長)二百四十六、青年團之訓練(青年團長)二百四十七、青年團之指導(青年團長)二百四十八、青年團之訓練(青年團長)二百四十九、青年團之指導(青年團長)二百五十、青年團之訓練(青年團長)二百五十一、青年團之指導(青年團長)二百五十二、青年團之訓練(青年團長)二百五十三、青年團之指導(青年團長)二百五十四、青年團之訓練(青年團長)二百五十五、青年團之指導(青年團長)二百五十六、青年團之訓練(青年團長)二百五十七、青年團之指導(青年團長)二百五十八、青年團之訓練(青年團長)二百五十九、青年團之指導(青年團長)二百六十、青年團之訓練(青年團長)二百六十一、青年團之指導(青年團長)二百六十二、青年團之訓練(青年團長)二百六十三、青年團之指導(青年團長)二百六十四、青年團之訓練(青年團長)二百六十五、青年團之指導(青年團長)二百六十六、青年團之訓練(青年團長)二百六十七、青年團之指導(青年團長)二百六十八、青年團之訓練(青年團長)二百六十九、青年團之指導(青年團長)二百七十、青年團之訓練(青年團長)二百七十一、青年團之指導(青年團長)二百七十二、青年團之訓練(青年團長)二百七十三、青年團之指導(青年團長)二百七十四、青年團之訓練(青年團長)二百七十五、青年團之指導(青年團長)二百七十六、青年團之訓練(青年團長)二百七十七、青年團之指導(青年團長)二百七十八、青年團之訓練(青年團長)二百七十九、青年團之指導(青年團長)二百八十、青年團之訓練(青年團長)二百八十一、青年團之指導(青年團長)二百八十二、青年團之訓練(青年團長)二百八十三、青年團之指導(青年團長)二百八十四、青年團之訓練(青年團長)二百八十五、青年團之指導(青年團長)二百八十六、青年團之訓練(青年團長)二百八十七、青年團之指導(青年團長)二百八十八、青年團之訓練(青年團長)二百八十九、青年團之指導(青年團長)二百九十、青年團之訓練(青年團長)二百九十一、青年團之指導(青年團長)二百九十二、青年團之訓練(青年團長)二百九十三、青年團之指導(青年團長)二百九十四、青年團之訓練(青年團長)二百九十五、青年團之指導(青年團長)二百九十六、青年團之訓練(青年團長)二百九十七、青年團之指導(青年團長)二百九十八、青年團之訓練(青年團長)二百九十九、青年團之指導(青年團長)三百、青年團之訓練(青年團長)三百一、青年團之指導(青年團長)三百二、青年團之訓練(青年團長)三百三、青年團之指導(青年團長)三百四、青年團之訓練(青年團長)三百五、青年團之指導(青年團長)三百六、青年團之訓練(青年團長)三百七、青年團之指導(青年團長)三百八、青年團之訓練(青年團長)三百九、青年團之指導(青年團長)三百十、青年團之訓練(青年團長)三百十一、青年團之指導(青年團長)三百十二、青年團之訓練(青年團長)三百十三、青年團之指導(青年團長)三百十四、青年團之訓練(青年團長)三百十五、青年團之指導(青年團長)三百十六、青年團之訓練(青年團長)三百十七、青年團之指導(青年團長)三百十八、青年團之訓練(青年團長)三百十九、青年團之指導(青年團長)三百二十、青年團之訓練(青年團長)三百二十一、青年團之指導(青年團長)三百二十二、青年團之訓練(青年團長)三百二十三、青年團之指導(青年團長)三百二十四、青年團之訓練(青年團長)三百二十五、青年團之指導(青年團長)三百二十六、青年團之訓練(青年團長)三百二十七、青年團之指導(青年團長)三百二十八、青年團之訓練(青年團長)三百二十九、青年團之指導(青年團長)三百三十、青年團之訓練(青年團長)三百三十一、青年團之指導(青年團長)三百三十二、青年團之訓練(青年團長)三百三十三、青年團之指導(青年團長)三百三十四、青年團之訓練(青年團長)三百三十五、青年團之指導(青年團長)三百三十六、青年團之訓練(青年團長)三百三十七、青年團之指導(青年團長)三百三十八、青年團之訓練(青年團長)三百三十九、青年團之指導(青年團長)三百四十、青年團之訓練(青年團長)三百四十一、青年團之指導(青年團長)三百四十二、青年團之訓練(青年團長)三百四十三、青年團之指導(青年團長)三百四十四、青年團之訓練(青年團長)三百四十五、青年團之指導(青年團長)三百四十六、青年團之訓練(青年團長)三百四十七、青年團之指導(青年團長)三百四十八、青年團之訓練(青年團長)三百四十九、青年團之指導(青年團長)三百五十、青年團之訓練(青年團長)三百五十一、青年團之指導(青年團長)三百五十二、青年團之訓練(青年團長)三百五十三、青年團之指導(青年團長)三百五十四、青年團之訓練(青年團長)三百五十五、青年團之指導(青年團長)三百五十六、青年團之訓練(青年團長)三百五十七、青年團之指導(青年團長)三百五十八、青年團之訓練(青年團長)三百五十九、青年團之指導(青年團長)三百六十、青年團之訓練(青年團長)三百六十一、青年團之指導(青年團長)三百六十二、青年團之訓練(青年團長)三百六十三、青年團之指導(青年團長)三百六十四、青年團之訓練(青年團長)三百六十五、青年團之指導(青年團長)三百六十六、青年團之訓練(青年團長)三百六十七、青年團之指導(青年團長)三百六十八、青年團之訓練(青年團長)三百六十九、青年團之指導(青年團長)三百七十、青年團之訓練(青年團長)三百七十一、青年團之指導(青年團長)三百七十二、青年團之訓練(青年團長)三百七十三、青年團之指導(青年團長)三百七十四、青年團之訓練(青年團長)三百七十五、青年團之指導(青年團長)三百七十六、青年團之訓練(青年團長)三百七十七、青年團之指導(青年團長)三百七十八、青年團之訓練(青年團長)三百七十九、青年團之指導(青年團長)三百八十、青年團之訓練(青年團長)三百八十一、青年團之指導(青年團長)三百八十二、青年團之訓練(青年團長)三百八十三、青年團之指導(青年團長)三百八十四、青年團之訓練(青年團長)三百八十五、青年團之指導(青年團長)三百八十六、青年團之訓練(青年團長)三百八十七、青年團之指導(青年團長)三百八十八、青年團之訓練(青年團長)三百八十九、青年團之指導(青年團長)三百九十、青年團之訓練(青年團長)三百九十一、青年團之指導(青年團長)三百九十二、青年團之訓練(青年團長)三百九十三、青年團之指導(青年團長)三百九十四、青年團之訓練(青年團長)三百九十五、青年團之指導(青年團長)三百九十六、青年團之訓練(青年團長)三百九十七、青年團之指導(青年團長)三百九十八、青年團之訓練(青年團長)三百九十九、青年團之指導(青年團長)四百、青年團之訓練(青年團長)四百一、青年團之指導(青年團長)四百二、青年團之訓練(青年團長)四百三、青年團之指導(青年團長)四百四、青年團之訓練(青年團長)四百五、青年團之指導(青年團長)四百六、青年團之訓練(青年團長)四百七、青年團之指導(青年團長)四百八、青年團之訓練(青年團長)四百九、青年團之指導(青年團長)四百十、青年團之訓練(青年團長)四百十一、青年團之指導(青年團長)四百十二、青年團之訓練(青年團長)四百十三、青年團之指導(青年團長)四百十四、青年團之訓練(青年團長)四百十五、青年團之指導(青年團長)四百十六、青年團之訓練(青年團長)四百十七、青年團之指導(青年團長)四百十八、青年團之訓練(青年團長)四百十九、青年團之指導(青年團長)四百二十、青年團之訓練(青年團長)四百二十一、青年團之指導(青年團長)四百二十二、青年團之訓練(青年團長)四百二十三、青年團之指導(青年團長)四百二十四、青年團之訓練(青年團長)四百二十五、青年團之指導(青年團長)四百二十六、青年團之訓練(青年團長)四百二十七、青年團之指導(青年團長)四百二十八、青年團之訓練(青年團長)四百二十九、青年團之指導(青年團長)四百三十、青年團之訓練(青年團長)四百三十一、青年團之指導(青年團長)四百三十二、青年團之訓練(青年團長)四百三十三、青年團之指導(青年團長)四百三十四、青年團之訓練(青年團長)四百三十五、青年團之指導(青年團長)四百三十六、青年團之訓練(青年團長)四百三十七、青年團之指導(青年團長)四百三十八、青年團之訓練(青年團長)四百三十九、青年團之指導(青年團長)四百四十、青年團之訓練(青年團長)四百四十一、青年團之指導(青年團長)四百四十二、青年團之訓練(青年團長)四百四十三、青年團之指導(青年團長)四百四十四、青年團之訓練(青年團長)四百四十五、青年團之指導(青年團長)四百四十六、青年團之訓練(青年團長)四百四十七、青年團之指導(青年團長)四百四十八、青年團之訓練(青年團長)四百四十九、青年團之指導(青年團長)四百五十、青年團之訓練(青年團長)四百五十一、青年團之指導(青年團長)四百五十二、青年團之訓練(青年團長)四百五十三、青年團之指導(青年團長)四百五十四、青年團之訓練(青年團長)四百五十五、青年團之指導(青年團長)四百五十六、青年團之訓練(青年團長)四百五十七、青年團之指導(青年團長)四百五十八、青年團之訓練(青年團長)四百五十九、青年團之指導(青年團長)四百六十、青年團之訓練(青年團長)四百六十一、青年團之指導(青年團長)四百六十二、青年團之訓練(青年團長)四百六十三、青年團之指導(青年團長)四百六十四、青年團之訓練(青年團長)四百六十五、青年團之指導(青年團長)四百六十六、青年團之訓練(青年團長)四百六十七、青年團之指導(青年團長)四百六十八、青年團之訓練(青年團長)四百六十九、青年團之指導(青年團長)四百七十、青年團之訓練(青年團長)四百七十一、青年團之指導(青年團長)四百七十二、青年團之訓練(青年團長)四百七十三、青年團之指導(青年團長)四百七十四、青年團之訓練(青年團長)四百七十五、青年團之指導(青年團長)四百七十六、青年團之訓練(青年團長)四百七十七、青年團之指導(青年團長)四百七十八、青年團之訓練(青年團長)四百七十九、青年團之指導(青年團長)四百八十、青年團之訓練(青年團長)四百八十一、青年團之指導(青年團長)四百八十二、青年團之訓練(青年團長)四百八十三、青年團之指導(青年團長)四百八十四、青年團之訓練(青年團長)四百八十五、青年團之指導(青年團長)四百八十六、青年團之訓練(青年團長)四百八十七、青年團之指導(青年團長)四百八十八、青年團之訓練(青年團長)四百八十九、青年團之指導(青年團長)四百九十、青年團之訓練(青年團長)四百九十一、青年團之指導(青年團長)四百九十二、青年團之訓練(青年團長)四百九十三、青年團之指導(青年團長)四百九十四、青年團之訓練(青年團長)四百九十五、青年團之指導(青年團長)四百九十六、青年團之訓練(青年團長)四百九十七、青年團之指導(青年團長)四百九十八、青年團之訓練(青年團長)四百九十九、青年團之指導(青年團長)五百、青年團之訓練(青年團長)五百一、青年團之指導(青年團長)五百二、青年團之訓練(青年團長)五百三、青年團之指導(青年團長)五百四、青年團之訓練(青年團長)五百五、青年團之指導(青年團長)五百六、青年團之訓練(青年團長)五百七、青年團之指導(青年團長)五百八、青年團之訓練(青年團長)五百九、青年團之指導(青年團長)五百十、青年團之訓練(青年團長)五百十一、青年團之指導(青年團長)五百十二、青年團之訓練(青年團長)五百十三、青年團之指導(青年團長)五百十四、青年團之訓練(青年團長)五百十五、青年團之指導(青年團長)五百十六、青年團之訓練(青年團長)五百十七、青年團之指導(青年團長)五百十八、青年團之訓練(青年團長)五百十九、青年團之指導(青年團長)五百二十、青年團之訓練(青年團長)五百二十一、青年團之指導(青年團長)五百二十二、青年團之訓練(青年團長)五百二十三、青年團之指導(青年團長)五百二十四、青年團之訓練(青年團長)五百二十五、青年團之指導(青年團長)五百二十六、青年團之訓練(青年團長)五百二十七、青年團之指導(青年團長)五百二十八、青年團之訓練(青年團長)五百二十九、青年團之指導(青年團長)五百三十、青年團之訓練(青年團長)五百三十一、青年團之指導(青年團長)五百三十二、青年團之訓練(青年團長)五百三十三、青年團之指導(青年團長)五百三十四、青年團之訓練(青年團長)五百三十五、青年團之指導(青年團長)五百三十六、青年團之訓練(青年團長)五百三十七、青年團之指導(青年團長)五百三十八、青年團之訓練(青年團長)五百三十九、青年團之指導(青年團長)五百四十、青年團之訓練(青年團長)五百四十一、青年團之指導(青年團長)五百四十二、青年團之訓練(青年團長)五百四十三、青年團之指導(青年團長)五百四十四、青年團之訓練(青年團長)五百四十五、青年團之指導(青年團長)五百四十六、青年團之訓練(青年團長)五百四十七、青年團之指導(青年團長)五百四十八、青年團之訓練(青年團長)五百四十九、青年團之指導(青年團長)五百五十、青年團之訓練(青年團長)五百五十一、青年團之指導(青年團長)五百五十二、青年團之訓練(青年團長)五百五十三、青年團之指導(青年團長)五百五十四、青年團之訓練(青年團長)五百五十五、青年團之指導(青年團長)五百五十六、青年團之訓練(青年團長)五百五十七、青年團之指導(青年團長)五百五十八、青年團之訓練(青年團長)五百五十九、青年團之指導(青年團長)五百六十、青年團之訓練(青年團長)五百六十一、青年團之指導(青年團長)五百六十二、青年團之訓練(青年團長)五百六十三、青年團之指導(青年團長)五百六十四、青年團之訓練(青年團長)五百六十五、青年團之指導(青年團長)五百六十六、青年團之訓練(青年團長)五百六十七、青年團之指導(青年團長)五百六十八、青年團之訓練(青年團長)五百六十九、青年團之指導(青年團長)五百七十、青年團之訓練(青年團長)五百七十一、青年團之指導(青年團長)五百七十二、青年團之訓練(青年團長)五百七十三、青年團之指導(青年團長)五百七十四、青年團之訓練(青年團長)五百七十五、青年團之指導(青年團長)五百七十六、青年團之訓練(青年團長)五百七十七、青年團之指導(青年團長)五百七十八、青年團之訓練(青年團長)五百七十九、青年團之指導(青年團長)五百八十、青年團之訓練(青年團長)五百八十一、青年團之指導(青年團長)五百八十二、青年團之訓練(青年團長)五百八十三、青年團之指導(青年團長)五百八十四、青年團之訓練(青年團長)五百八十五、青年團之指導(青年團長)五百八十六、青年團之訓練(青年團長)五百八十七、青年團之指導(青年團長)五百八十八、青年團之訓練(青年團長)五百八十九、青年團之指導(青年團長)五百九十、青年團之訓練(青年團長)五百九十一、青年團之指導(青年團長)五百九十二、青年團之訓練(青年團長)五百九十三、青年團之指導(青年團長)五百九十四、青年團之訓練(青年團長)五百九十五、青年團之指導(青年團長)五百九十六、青年團之訓練(青年團長)五百九十七、青年團之指導(青年團長)五百九十八、青年團之訓練(青年團長)五百九十九、青年團之指導(青年團長)六百、青年團之訓練(青年團長)六百一、青年團之指導(青年團長)六百二、青年團之訓練(青年團長)六百三、青年團之指導(青年團長)六百四、青年團之訓練(青年團長)六百五、青年團之指導(青年團長)六百六、青年團之訓練(青年團長)六百七、青年團之指導(青年團長)六百八、青年團之訓練(青年團長)六百九、青年團之指導(青年團長)六百十、青年團之訓練(青年團長)六百十一、青年團之指導(青年團長)六百十二、青年團之訓練(青年團